

小島地区ふれあいセンターだより

令和5年6月 第396号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703

6月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
2日(金)	子育て教室	午前10時～11時30分
6日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
7日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時～12時
9日(金)	愛宕3丁目自治会給食会	
14日(水)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
21日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時～12時
24日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分～12時
	小島地区連合自治会連絡会議	

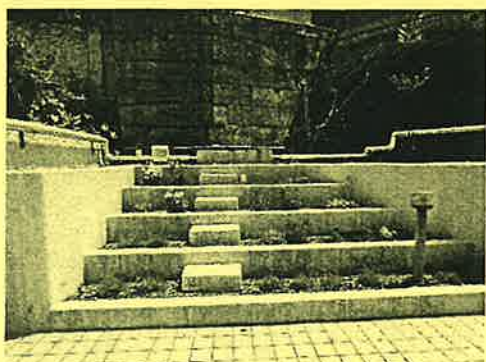
【お知らせ】

花に癒され楽しく活動しましょう

小島地区ふれあいセンターでは、利用者の皆様に、楽しみながら施設をご利用いただきたいとの思いで、花のある環境づくりを心がけています。

正面入口の前には、プランターに寄せ植え風に花を植えています。又、児童図書館の外側には、階段状の花壇に、草花を植えています。

ふれあいセンターにお越しの際は、花をご覧になり、楽しまれてはいかがでしょうか。



「たのしいヨガ」のご紹介

初心者・シニアの方を対象とした、やさしくたのしいヨガ教室です。

「たのしいヨガ」を始めてみませんか？

〈場所〉 小島地区ふれあいセンター
(長崎市愛宕3丁目10番2号)

〈日時〉 月3回(第1・3・4金曜日)
午前10時～11時20分

〈会費〉 2,000円(月額)

〈講師〉 古野 久美子このくみこさん



〈問合せ〉 電話826-7703
(小島地区ふれあいセンター)

ご参加、お待ちしております。

「春の園芸教室」講座について

四月二十二日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師の沖迫司先生(フラワーおきさこ代表)による「春の園芸教室」を開催しました。

テーマは「寄せ植えの基本・花苗を植える」で、十九名の方が参加されました。

寄せ植えの花の種類は、マリーゴールド、サルビア、マーガレット、ペチュニア、ガザニア、バコパ、ヘリクリサム、ポーチュラカなどの花が用いられました。

参加者の皆さんは、和気あいあいと、美しい春の花の寄せ植えを楽しみました。



長崎雑話(2) 竹方其

丸山遊女と絵踏(一)

江戸の吉原、京都の島原、大阪の新町を三大遊廓というが、長崎の丸山は、それに次ぐものであった。

元禄三年(一六九〇)阿蘭陀屋敷の医師として来日したケンペルは、比較的詳細に、丸山遊女のことを述べている。

丸山花街の位置、丸山遊女屋の建物が長崎市中で最も美しい。西国においては、博多の遊廓より長崎の花街が有名。

京を除き、長崎は西国で最も美貌の女を産する。

また、井原西鶴も『日本永代蔵』に、「長崎に丸山という所なくば、上方の金銀、無事帰宅すべし。ここ通いの商い、海上の気つかいの外、いつ時しらぬ恋風おそろし」などと丸山を描写し、元禄を中心としての前後の丸山は、非常に有名な所であったことを知ることができる。

長崎の遊廓は、慶長十一年(一六〇六)頃に遊女屋が建てられたといわれるが、寛文三年(一六六三)の大火、元禄十四年(一七〇一)本石灰町の火事により、丸山・寄合町両町が全焼したため、遊女町の史料のうち、古い部分が著しく欠漏したため、古いことは、よく分からない。

享保十九年(一七三四)十一月に書き上げられた丸山町・寄合町由緒書きに遊女町の由来が述べられている。

これが、長崎の遊廓を知る手がかりとなっている。

長崎・丸山遊廓



南山手界限(グラバー園⑤)

○旧グラバー住宅(昭和36年国指定重要文化財)。文久3年(1863)の建築。正面玄関が無い(設けてない)独特のバンガロー風の様式。
・日本最古の木造西洋風の住宅、建築物。

※住宅の特徴

・コンニャク煉瓦(明治維新前後の一時期生産された長崎独特の煉瓦)。薩摩藩主から贈られた樹齢300年の日本最大級のソテツ。
・五代友厚、坂本龍馬を匿った隠し部屋(天井部屋)。(これには異論が多数有ります)

・キリン麦酒最初のラベルのモデル、麒麟像。(石造りの狛犬)
・鏡が壁の高すぎる場所に付けられている。ランプの反射鏡、部屋を少しでも明るく。

・ハートストーン。この石にやさしく触れると恋が叶うといわれ、庭に3ヶ所有ります。

○トーマス・ブレーク・グラバー(1838〜1911)

・天保9年(1838)英・スコットランド北部の小さな漁村で生まれた。安政6年(1859)21歳のとき上海経由で来崎。3年後(1862)「グラバー商会」を設立。

・お茶、海産物。長州や薩摩などの藩士との交流。

・幕府、各藩に武器や船舶、機械類を大量に販売。莫大な富↓死の商人といわれる。

・近代的なドック「小菅修船場(ソロバンドック)」

・高島炭鉱の開発。高島には、グラバーさんの別荘がありました。海底ケーブルで、長崎と高島間をつないでいます。(電話の使用)

・大浦海岸(大浦バンド)で、わが国初の蒸気機関車「アイアン・デューク号」を走らせました。

・明治18年(1886)7月ジャパン・ブルワリー・カンパニー(キリンビール)の元会社)横浜設立。

・明治3年(1870)グラバー商会倒産。(諸藩の掛売り金の回収不能に陥る) 倒産後、三菱の顧問で活動を行なう。明治41年(1908)、

勲二等旭日重光章(外国人初) 明治44年(1911)、73歳で死亡。

新坂本国際墓地に埋葬されています。次は、南山手界限、近隣めぐり①

長崎雑話(1) 竹方其

じやがたらお春(八)

お春のものとされる「ジャガタラ文」は、三千字余りもの長文である。長崎出身の学者・文人の西川如見が書いた『長崎夜話草』の文面であるが、現在、この文面は、お春の手紙を土台にして、西川如見が創作したとする説が一般的である。

近代の研究者達も、事実と違う点を指摘。一例によると、『平戸オランダ商館の日記』によると、お春が乗船した船が出帆したとされる寛永十六年十月三十一日は、快晴だったとある。

しかし、「ジャガタラ文」の冒頭には「うらめしの嵐、時雨とともに」と有り、合致しない。

しかし、文章は心の底から生まれてくるものであることから考えると、お春の気持ちは、そのような気持ちであったのであるから、一概に事実と異なるとは言いがたい。なにせ、望郷の念を込めての手紙であるからだ。

長崎の禅寺 聖福寺の大雄殿の庭には、禁教時代の秘話が込められた「じやがたらお春」の石碑がある。

長崎の鶯は鳴く今もなほ

じやがたら文のお春あはれと

吉井 勇

聖福寺の「じやがたらお春」の石碑





〈新着図書のご案内〉

	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般	黒武御神火御殿	宮部 みゆき	KADOKAWA
	雄気堂々 上巻	城山 三郎	新潮社
	雄気堂々 下巻	城山 三郎	新潮社
	完全読解歎異抄入門	田中 治郎	ビジネス社
	まっふる大河ドラマどうする家康	—	昭文社
	老化を遅らせる脳の鍛え方	和田 秀樹	青志社
	絵と図でよくわかる次元の秘密	ニュートン編集部	ニュートンプレス
	名優が語る演技と人生	関 容子	文藝春秋
	まぼろしの城	池波 正太郎	新潮社
	明日も一日きみを見てる	角田 光代	KADOKAWA
図 書	渦中	上田 秀人	集英社
	朝鮮王朝 500 年史	ゴーシュ	辰巳出版
	垂れ込み	堂場 瞬一	角川春樹事務所
	闇の齒車	藤沢 周平	講談社
	闇の梯子	藤沢 周平	講談社
	四両二分の女	佐藤 雅美	講談社
	蝉時雨	芝村 凉也	双葉社
	風立ちぬ 上	辻堂 魁	祥伝社
	風立ちぬ 下	辻堂 魁	祥伝社
	架け橋	辻堂 魁	祥伝社
児 童 図 書	マンボウ、空を飛ぶ	吉野 万里子	講談社
	すしん	たなか ひかる	ポプラ社
	シン・動物ガチンコ対決	ジェリー・パロッタ	鈴木出版
	ごはんのずかん	大森 裕子	白泉社
	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	谷口 智則	金の星社
	アンパンマンともえるほし	やなせ たかし	フレーベル館
	がっこうのてんこちゃん はじめてばかりでどうしよう!の巻	ほそかわ てんてん	福音館書店
	ふうせんとでんしゃ	間瀬 なおかた	ひさかたチャイルド
	三国志が好き!	渡邊 義浩	岩波書店
	ニコラ・テスラものがたり	アザデー・ウェスターガード	評論社